

栗原版デュアルシステム運営委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、文部科学省からの専門高校等における「日本版デュアルシステム」推進事業による指定終了後の平成20年度以降も、宮城県一迫商業高等学校（以下「実施高校」という。）において、「日本版デュアルシステム」（以下「栗原版デュアルシステム」という。）を継続実施することに伴い、「栗原版デュアルシステム」の実施のために設置する運営委員会に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 栗原版デュアルシステム運営委員会（以下「運営委員会」という。）は、栗原版デュアルシステムの円滑な実施運営に資することを目的とする。

(所掌事務)

第3条 運営委員会は、次の事務を所掌する。

- 1 栗原版デュアルシステムの運営に関する指導及び助言
- 2 栗原版デュアルシステムの運営に関する評価
- 3 その他栗原版デュアルシステムの運営に関する必要事項

(構 成)

第4条 運営委員会は、実施高校の教育に専門的知識を有する者、学識経験者、受入企業の代表者、栗原地域の産業団体関係者、産業振興及び雇用行政担当者等、別表に掲げる者をもって構成する。

(組 織)

第5条 運営委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 1 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

(会 議)

第6条 運営委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

- 1 委員長は、運営委員会を代表し、会務を主催するとともに、運営委員会の議長となる。
- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。
- 3 運営委員会には、必要に応じ、別表に定める者以外の出席を求めることができる。

(事 務 局)

第7条 事業の円滑な実施を図るため、事務局は実施高校に置く。

(補 則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は運営委員会で協議し別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成20年9月25日から施行する。

5 議事

(1) 令和5年度「栗原版デュアルシステム」実施計画と進行状況について

(ア) デュアルシステム概要

1 概要

栗原版デュアルシステム

地域産業界と連携を図りながら職業人として地域社会に有為な人材を育成することを目的とし、科目「総合実践」の中の「販売実習」「起業家研究」「企業実習」を中心とする取組である。

2005年（平成17年）に文部科学省より研究指定を受けた地域（学校）は20校あり、本校もその中の一つです。宮城県栗原地域で実施するため、「栗原版」デュアルシステムと命名しました。

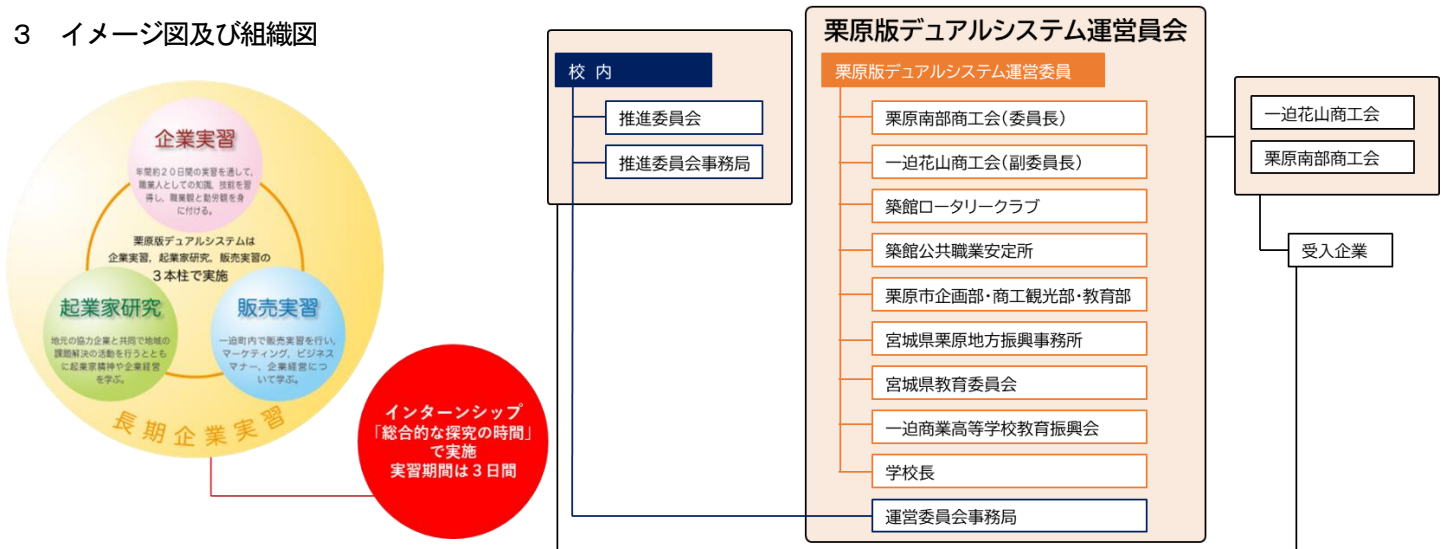
“地域産業界と連携を図りながら共同で将来有為な人材を育成すること”を目的とし活動を行っており、本校は、地域社会や県の協力のもと継続して活動し、平成25年には文部科学大臣表彰を受けました。

2 ねらい

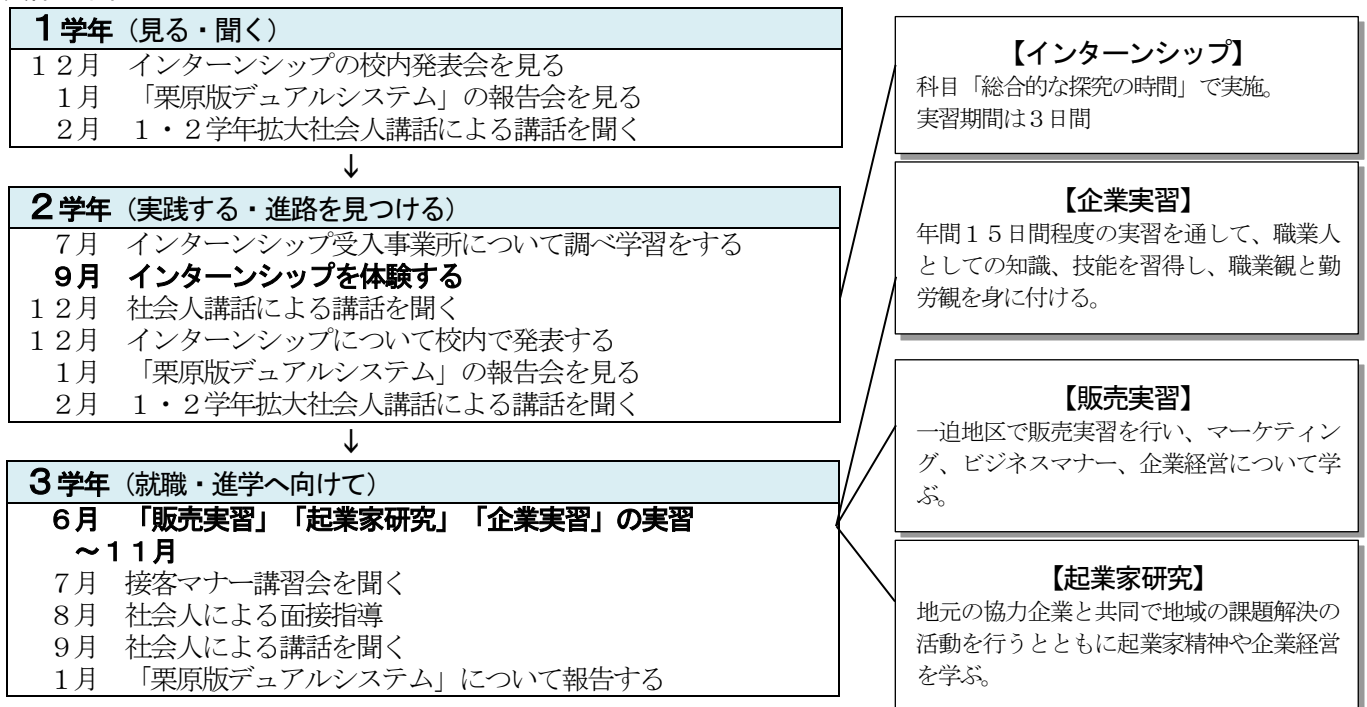
【職業観、勤労観の育成】 【地域の有為な人材の育成】 【地域と連携し、地域活性化の一助とする】

1年次は、先輩方の学習報告会への参加を通じて、職業観の種を植え、2年次でインターンシップの体験を通し、芽吹かせています。この取り組みにより、より効果的な職業観や就業観を育成し、地域に貢献できる人づくりを行っています。

3 イメージ図及び組織図



4 具体的取組



(イ) インターンシップ

令和5年度 第2学年「総合的な探究の時間」 ～インターンシップによる職場体験実習～

1 目的

- (1) 人間としての在り方、生き方について生徒が自ら考え自覚を深めて自己実現を図る資質や能力を育てる。
- (2) 職場における、実際の知識や技術・技能に触れることにより、学習意欲を喚起し、主体的な職業選択能力や高い職業意識を育成する。
- (3) 勤労の尊さや喜び、楽しさや厳しさを学び、社会における自己の役割や責任・自覚を促す。
- (4) 総合的な探究の時間で身につけたことを他の教科でも活かし、自己の能力を高める。

2 デュアルシステムの取り組みとして

- (1) デュアルシステムでの生徒への定着目標
 - ◎地域に求められる人材を育成する
 - 正しい職業観
 - 勤労観の育成・コミュニケーション能力
 - 実践的スキル・技能・起業家的発想
 - 社会人としてのマナー
- (2) 具体的目標（地域に求められる人材育成を目指して）
 - ◎「企業」「職業」に関する視野を広げる
 - ◎「仕事」に向かう姿勢の深化

3 対象生徒

2学年 37名（男子25名 女子12名）

4 実施日時

- (1) 2年生総合的な探究の時間 水曜 5校時
- (2) 令和5年9月5日（火）～ 7日（木） 3日間

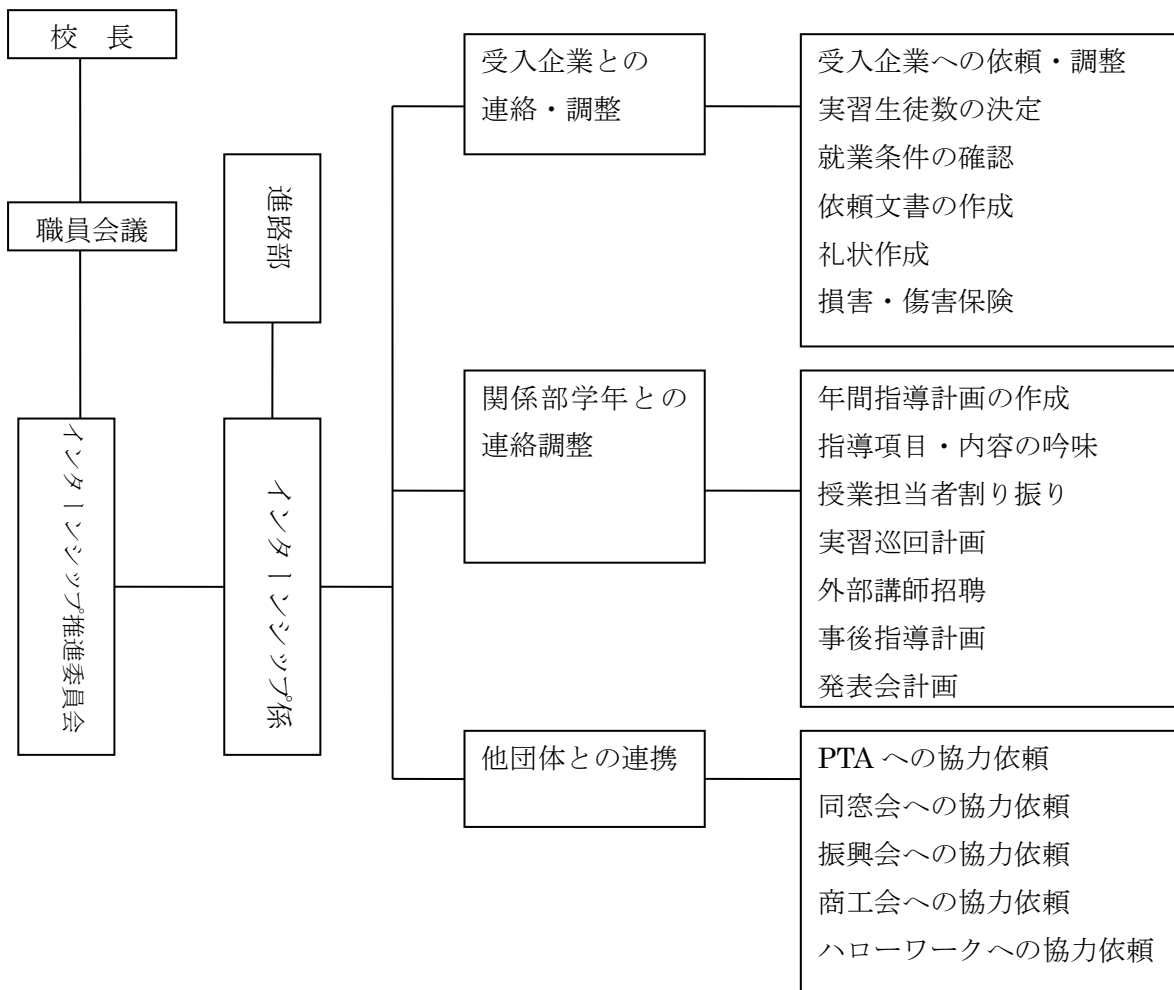
5 インターンシップ推進委員会

教頭		加藤 章
事務室長		高 橋
総務・進路部	進路指導主事	佐々木達
	担当	庄 司
	担当補助	佐藤 貴
商業科	商業科長	牛 袋
	流通経済科長	牛 袋
	情報処理科長	千 葉

6 係分担

担 当 等		業 務 内 容
インターンシップ係	庄司・2学年	授業計画・渉外
担任	齋藤・伊藤貴・千葉・阿部	授業時生徒掌握・出欠の記録
各授業担当	2学年・外部講師	インターンシップ係の割り振りによる
事業所担当	全職員	事前研究・実習・まとめ・評価

7 係分担組織図



8 令和5年度 インターンシップ ご協力企業様一覧 (令和5年6月9日時点) ※企業名 (人数)

ケーズデンキ築館店 (1) 秋桜 (1) シネマ・リオーネ古川 (1) 栗原市立築館幼稚園 (3)
 宮城トヨタ・カローラ 築館店 (1) UGOQ (ジム) (1) 山の駅くりこま (1)
 ビューティーサロンニューひらの美容室 (1) ファッションセンターしまむら 築館店 (2)
 ウジェスーパー栗駒店 (2) ヨークベニマル築館店 (1) 栗原市役所 (1) 栗原市立図書館 (1)
 税理士法人くりはら中央会計 (1) 築館税務署 (1) 宮城県警 築館警察署 (1)
 合同会社くりはらファーマーズラボ (1) 特別養護老人ホーム 山王 (1) 株式会社 北光 (1)
 ジオマテック株式会社金成工場 (1) 六日町の家 (1) パン工房いそっぷ (1) 一迫郵便局 (1)
 JR東日本テクノサービス小牛田営業所 (1)

9 年間計画大案

令和5年度 2学年 総合的な探究の時間活動予定

NO.	月日	校時	内容	実施場所
1	4月19日	5	オリエンテーション・探究の時間について ・インターンシップ先希望調査	選択教室
2	4月26日	5	自己理解① 自分史① 誕生～幼稚園	選択教室
3	5月10日	5	自己理解① 自分史② 小学校	各教室
4	5月17日	5	自己理解① 自分史③ 中学校	各教室
5	5月24日	5	自己理解① 自分史④ 高校入学～現在	各教室
6	5月31日	5	自己理解① 自分史 まとめ 【レイアウト】	各教室
7	6月7日	5	自己理解① 自分史 まとめ 【下書き】	各教室
8	6月14日	5	自己理解① 自分史 まとめ 【清書完成】	各教室
9	6月21日	5	インターンシップに向けて① 今後の予定を確認、企業調べ	第1情報処理室
10	6月28日	5・6	分野別進路ガイダンス	各教室等 外部依頼
11	7月5日	5	インターンシップに向けて② 電話でのアポイントメントの取り方	文書処理室
12	夏休み前 ～夏休み中		アポイントを取り、事業所と事前打合せ	職員室
13	8月23日	5	インターンシップに向けて③ 講演 基本的な姿勢について	視聴覚室 外部依頼
14	8月30日	5	インターンシップに向けて② 日誌の書き方、その他最終確認	文書処理室 進路主事に依頼
15	9/5～9/7 インターンシップ			各事業所
16	9月13日	5	インターンシップを終えて① お礼状仕上げ・発送	文書処理室
17	9月27日	5	インターンシップを終えて② 学んだことをまとめる	文書処理室
18	10月4日	5	発表（報告書）準備 スライド作りのポイント	第1情報処理室
19	10月11日	5	発表（報告書）準備	第1情報処理室
20	10月18日	5	発表（報告書）準備	第1情報処理室
21	10月25日	5	発表（報告書）準備	第1情報処理室
22	11月1日	5	発表（報告書）準備	第1情報処理室
23	11月15日	5	インターンシップ報告会 発表練習	第1情報処理室
24	11月22日	5	インターンシップ報告会 発表練習	第1情報処理室
25	12月13日	5	インターンシップ報告会 最終リハーサル	各教室
26	12月13日	6	インターンシップ報告会	各教室
27	12月20日	5	自己理解② 企業・上級学校について① 企業・学校調べ	第1情報処理室
28	1月10日	5	自己理解② 企業・上級学校について② 企業・学校調べ【プレゼン準備】	第1情報処理室
29	1月17日	5	自己理解② 企業・上級学校について③ 企業・学校調べ【プレゼン完成・発表準備】	第1情報処理室
30	1月24日	5	自己理解② 企業・上級学校について④ 企業・学校調べ【発表会】	第1情報処理室
31	1月31日	5	進級前講話（津軽さんから）	文書処理室
32	2月7日	5	3年生からの話	視聴覚室
33	2月21日	5・6	進路別ガイダンス	外部依頼

(ウ) 企業実習

令和5年度 第3学年「総合実践」企業実習 授業計画

- 1 目的 ①栗原地域の特性を踏まえ、地域産業と連携し、職業についての知識や技能を身につける。
②地域産業の担い手となる将来有能な人材の育成を目指して現場での実習を実施し、望ましい職業観や勤労観の醸成を図る。
- 2 実施科目 3学年 「総合実践」3単位
- 3 対象生徒 3学年 6名
- 4 担当教員 商業科 加藤 幸禎、伊藤 貴章
- 5 実施期間 令和5年4月14日 から 令和6年1月30日 まで
- 6 授業日時 各週火曜日6時間目、金曜日5・6時間目
- 7 実習時間 1日の実習時間は2～3時間程度とする
- 8 受入事業所 栗原市一迫総合支所、イエローハット築館店、エポカ21、イワサキ通信工業株式会社
栗原市立一迫幼稚園、自衛隊宮城地方協力本部栗原地域事務所
- 9 年間実習予定日：回数、実施日

①	6月 2日	②	6月 9日	③	6月23日	④	7月14日	⑤	8月25日
⑥	9月 1日	⑦	9月 8日	⑧	9月29日	⑨	10月 6日	⑩	10月13日
⑪	10月27日	⑫	11月24日	⑬	12月 1日				

- ※ 6月16日は定期考査のため実施いたしません。
- ※ 6月30日・10月17日は学校行事のため実施いたしません。
- ※ 7月21日から8月22日は夏休み期間のため実施いたしません。
- ※ 学校行事により予定が変更されることがあります。

(エ) 販売実習

令和5年度 第3学年「総合実践」販売実習 授業計画

- 1 目的 マーケティングや接客マナー等について「実際に商品を仕入れ販売をして利益計算を行う作業」をとおり、実務として体験させ、自ら考え行動する能力と態度を養い、さらに異世代とのコミュニケーションをとおりて勤労観や職業観を育成することを目的とする。
- 2 実施科目 3学年 「総合実践」3単位
- 3 対象生徒 3学年 17名(4班)
- 4 担当教員 商業科 牛袋 和義、千葉 敬太、加藤 直裕、門脇 公喜
- 5 実施期間 令和5年4月14日 から 令和6年1月30日 まで
- 6 授業日時 各週火曜日6時間目、金曜日5・6時間目
- 7 協力企業 仕入先：(昨年度実績) マルナマ食品、布目、友樹飲料、花畑牧場、六花亭、小六、しんや 他
広告配布：菅原新聞店 ※順不同・敬称略
- 8 学習内容 高校入学後に学習した簿記や商業経済、マーケティング、情報処理などの内容について、一迫町内施設「あやめの里」を借り受け、地元企業の指導の下で、店舗設計から仕入計画、販売計画、プロモーション、経理までを生徒自らが責任を持って計画・実行する。今後、市場調査を行い、各班ストアコンセプトを決定し、取扱商品を検討する。

9 年間指導計画

回	実 習 日	実施内容
1	4月14日(金)	オリエンテーション
2	4月18日(火)	事前学習 コミュニケーションの基礎
3	4月21日(金)	事前学習 売れる商品とは プレゼン発表
4	4月25日(火)	事前学習 商品コンセプトと販売計画
5	4月28日(金)	事前学習 アイデア発想法(ブレインストーミング)
6	5月9日(火)	事前学習 会社組織について
7	5月16日(火)	市場調査 校内販売実習に向けたアンケート作成①
8	5月19日(金)	市場調査 校内販売実習に向けたアンケート作成②
9	5月23日(火)	市場調査 アンケート作成および今後の流れについて
10	5月26日(金)	市場調査 アンケート印刷・配布準備 広告について
11	5月30日(火)	知的財産権・商標権について
12	6月2日(金)	市場調査 アンケート結果集計およびまとめ
13	6月9日(金)	販売計画 販売計画作成および会社ごとのプレゼンテーション作成①
14	6月13日(火)	販売計画 会社ごとのプレゼンテーション作成②
15	6月23日(金)	販売計画 プレゼン発表 仕入れたい商品の検討
16	6月27日(火)	商品計画 商品検討およびコンセプト作成
17	7月4日(火)	仕入計画 仕入れ先の決定および商品選定
18	7月7日(金)	接客マナー講習会(2時間)
19	7月11日(火)	販売促進 校内販売実習に向けたPOPおよび広告作成①
20	7月14日(金)	販売促進 校内販売実習に向けたPOPおよび広告作成②
21	7月18日(火)	販売促進 校内販売実習に向けたストアレイアウト作成
22	8月25日(金)	校内販売実習の振り返りおよび販売実習に向けたスケジュール作成および人事異動による組織再編
23	8月29日(火)	市場調査 地域住民へのアンケート作成
24	9月1日(金)	市場調査 一迫フィールドワーク 質問紙法によるアンケート調査
25	9月5日(火)	市場調査 アンケート集計および販売計画の作成
26	9月8日(金)	販売計画 商品コンセプトの作成
27	9月12日(火)	商品計画 商品選定および販売実習のコンセプト決定
28	9月15日(金)	仕入計画 仕入れ先の選定および見積依頼書の作成
29	9月26日(火)	仕入計画 仕入計画およびFAX送信票の作成
30	9月29日(金)	仕入計画 電話交渉の方法および会計書類の作成①
31	10月3日(火)	仕入計画 電話交渉の方法および会計書類の作成②
32	10月6日(金)	販売促進 校内販売実習に向けたPOPおよび広告作成①
33	10月10日(火)	販売促進 チラシ作成およびストアレイアウトの作成①
34	10月13日(金)	出店準備
35	10月27日(金)	出店① 出店報告書作成
36	10月31日(火)	出店①の振り返り
37	11月7日(火)	仕入計画 電話交渉の方法および会計書類の作成③
38	11月14日(火)	販売促進 校内販売実習に向けたPOPおよび広告作成②
39	11月21日(火)	販売促進 チラシ作成およびストアレイアウトの作成②
40	11月24日(金)	出店② 出店報告書作成
41	12月1日(金)	出店準備
42	12月5日(火)	販売実習の振り返り
43	12月8日(金)	お礼状の作成および校内販売実習の準備①
44	12月12日(火)	お礼状の作成および校内販売実習の準備②
45	12月15日(金)	校内販売実習の振り返り
46	12月19日(火)	発表準備 報告様式でのレポート作成
47	12月22日(金)	発表準備 パワーポイントでのスライド作成①
48	1月9日(火)	発表準備 パワーポイントでのスライド作成②
49	1月12日(金)	発表準備 パワーポイントでのスライド作成③
50	1月16日(火)	発表準備 パワーポイントでのスライド作成④
52	1月19日(金)	発表準備 パワーポイントでのスライド作成⑤
53	1月23日(火)	発表準備 パワーポイントでのスライド作成⑥
54	1月26日(金)	デュアルシステム学習報告会
55	1月30日(火)	デュアルシステム学習報告会振り返り まとめ 個人評価 学年末課題
	授業時数計	80

出店イベント 10・11月 一迫町内施設「あやめの里」における出店(販売実習)
8月 栗原市民祭り(予定)

(オ) 起業家研究

令和5年度 第3学年「総合実践」起業家研究 授業計画
～栗原版デュアルシステムにおける課題解決型学習～

- 1 目的 (1) 産業界から求められる人材の育成を図る。
 集団で課題を解決するなど、コミュニケーション能力の向上に努める。
(2) 地域社会との関わりを持ち、学校から社会への円滑な移行を目指す。
 社会との関わりの中で、生徒の自己有用感を高める。社会で自己を発揮できる自信を身に付けさせる。
(3) 学習したことを地域社会に還元し、生徒の学習意欲の向上につなげる。
 学校で学んだことを地域社会で役立て、社会から学んだことを、校内の学習活動に生かす。

- 2 実施科目 3学年 「総合実践」 3単位
3 対象生徒 3学年 7名
4 担当教員 商業科 伊藤 孝紘、藤原 恵、牛木 雅也、佐々木 義成
5 実施期間 令和5年4月14日 から 令和6年1月30日 まで
6 授業日時 各週火曜日6時間目、金曜日5・6時間目
7 学習内容

実施月	学習内容
4月～7月	○アイデア発想法について ・ブレインストーミング、KJ法 ・ワールドカフェ ・ブレインライティング ○問題解決の流れについて ・問題の背景を探る（現地調査） ・仮説を立てる（聞き取り） ・仮説についてアンケート調査をする（QRコード） ・コンセプトを考える ・改善策を考える ・報告書にまとめる（形式はパワーポイント） ○その他 ・新聞を活用したNIEの推進 ・INOAC様より講義（商標登録について） ・くりこま夜市に参加
8月～11月	○問題解決について ・企業訪問する（問題の認識） ・問題の背景を探る（現地調査） ・仮説を立てる（聞き取り） ・仮説についてアンケート調査をする（QRコード） ・コンセプトを考える ・改善策を考える ・改善策を実施し、検証する ・報告書にまとめる（形式はパワーポイント） ・地元企業へ提案する（現地またはZOOM会議）
12月～1月	○プレゼンテーションについて ・プレゼンテーション原稿を作成する ・パワーポイントのスライドを作成する ・発表練習をする ・一迫ふれあいホールで学習報告会を行う

8 協力企業について

栗原版デュアルシステム運営委員会に協力をいただき、生徒に考えさせる問題点を提供していただける企業を推薦していただく。協力企業については以下の点に留意して、授業協力をお願いする。

- 1) 生徒の教育活動への参加という意識で協力をいただく。
- 2) 提供していただく問題は経営をしていく上で、実際に問題と感じているものとし、生徒への「課題」として提供していただく。
【提案問題事例】
 - ・新商品開発に関する問題（地域おこし協力隊から依頼されたクラフトビールのラベル・ポスター作成）
 - ・既存商品の新しいプロモーション方法（SNS登録の拡散方法や、ポスター発信、QRコードを活用した情報収集）
 - ・新規市場開拓に関する問題（クラウドファンディングや商標登録の壁など）
- 3) 問題解決案を策定するうえで必要な知識や背景などの予備知識については、生徒による調べ学習を基本とするが、必要な場合は、協力事業者に直接ご教授いただく場合もある。
- 4) 問題解決案を策定するうえで必要な生徒の校外活動については、できるかぎり対応する。その際は、担当教員が生徒活動を監督する。
- 5) 問題解決案を策定するうえで企業が抱えている問題点について、協力を依頼する場合がある。
- 6) 報道機関から本校への取材依頼があった場合に、協力企業としての取材対応を協力いただく場合がある。
- 7) 本授業で生徒関わった事業のプロモーション活動について、企業による校名の使用は制限をしない。

9 連絡先

担当 (チーフ)伊藤 孝紘、藤原 恵、牛木 雅也、佐々木 義成
T E L 0228-52-4112
F A X 0228-52-4111

6 報 告

令和4年度進路内定先（令和5年3月1日現在）

【就職】16名

●栗原市内（9名）

伊藤ハムデイリー株式会社	1名	新みやぎ農業協同組合	1名	栗原食肉株式会社	1名
株式会社北光	1名	株式会社ホンダ販売光和	1名	株式会社ネクスト	1名
ナブコトート株式会社	2名	東北部品株式会社	1名		

●県内（4名）

東北電力株式会社	1名	菅原産業株式会社	1名
アイリスオーヤマ株式会社	1名	株式会社アルファス計装	1名

●県外（3名）

イオンスーパーセンター株式会社盛岡本部	1名
株式会社アミーゴ	1名
株式会社DGテクノロジーズ	1名

*ハローワークの管轄によって栗原市内・県内・県外に分けています。

●公務員

なし

●縁故・自営

なし

【進学】18名

●大 学（1名）

東北学院大学	1名
--------	----

●短 大（1名）

宮城誠真短期大学	1名
----------	----

●公共職業能力開発施設等（4名）

大崎高等技術専門学校	1名	東北職業能力開発大学校	3名
------------	----	-------------	----

●専門（専修）学 校（12名）

仙台総合ビジネス公務員専門学校	1名	宮城調理製菓専門学校	1名
東北ヘアモード学院	1名	仙台総合ペット専門学校	1名
東北電子専門学校	4名	花壇自動大車学校	1名
仙台医健・スポーツ専門学校	1名	専門学校デジタルアーツ仙台	1名
仙台こども専門学校	1名		

	希望者数	内定(合格)者数	受験中	未定
就 職 関 係	16	16	0	0
進 学 関 係 (大 学)	1	1	0	0
進 学 関 係 (短 大)	1	1	0	0
進 学 関 係 (専 修 ・ 各 種 学 校)	16	16	0	0
家 業 ・ 家 事 手 伝 等	0	0	0	0
合 計	34	34	0	0

7 その他



校訓

誠実 自律 奉仕

令和5年度実施教育課程表

教科	科目	流通経済科			情報処理科		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	現代の国語	2			2		
	言語文化	2			2		
	国語表現		3			3	
	現代文A			2			2
	古典A			△3			△3
地歴	日本史A			△3			△3
	地理総合	2			2		
公民	現代社会			3			3
	公共		2			2	
数学	数学I	3	2		3	2	
	数学A			2			2
	数学B			▲3			▲3
理科	科学と人間生活	2		△3	2		△3
	化学基礎		2			2	
	地学基礎			2			2
保健体育	体育	2	2	2	2	2	2
	保健	1	1		1	1	
芸術	音楽I			2			2
外国語	英語コミュニケーションI	3	2		3	2	
	コミュニケーション英語II			▲3			▲3
	英語表現I			2			2
家庭	家庭総合			2			2
	家庭基礎		2			2	
普通科目計		17	16	17	17	16	17
商業	ビジネス基礎	2			2		
	課題研究			3			3
	総合実践			3			3
	ビジネス・コミュニケーション	3					
	マーケティング		3				
	商品開発と流通		3				
	広告と販売促進			△3			
	経済活動と法						△3
	簿記	4			4		
	財務会計I		3	▲3		4	▲3
	原価計算			△3			△3
	情報処理	3			4		
	ビジネス情報			▲3			
ソフトウェア活用		3			5		
プログラミング				2	3	▲3	
商業科目計		12	12	6	12	12	6
選択科目(△+▲)				6			6
総合的な探究の時間			1			1	
ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1
合計		30	30	30	30	30	30

※ 3年次の選択科目については△と▲からそれぞれ1科目を選択する

令和5年度 進路活動 実施計画

学年	実 施 内 容	
一 年 生	4月12日 進路関係諸調査・オリエンテーション 4月19日 進路適性検査 5月2日 進路ガイダンス① 5月31日 進路適性検査事後指導 7月14日 進路ガイダンス② 夏季休業 進路について話し合おう！ 12月13日 インターンシップ報告を聞こう 1月 日 進路講話 1月 日 栗原ジョブフェア 1月26日 デュアルシステム学習報告会 2月 日 進路ガイダンス③ 2月 日 3年生からの話 2月 日 インターンシップ説明会 3月 日 栗原ものづくり地域企業見学会 3月 日 進路フェスタ	見る・聞く
二 年 生	4月12日 進路関係諸調査 5月2日 進路ガイダンス① 6月28日 進路ガイダンス② 7月 日 拡大社会人講話 夏季休業 事業所との事前打ち合わせ 8月 日 実習に向けて (インターンシップ前ガイダンス) 9月5日～7日 インターンシップ 9月 日 礼状作成・実習レポートまとめ 9月 日～インターンシップ校内報告会準備 (職業探究のまとめ) 12月13日 インターンシップ校内報告会 1月26日 デュアルシステム学習報告会 2月 日 3年生からの話 2月 日 進路ガイダンス④ 2月 日 進路ガイダンス⑤ 2月 日 クレペリン検査 3月 日 栗原ものづくり地域企業見学会 3月 日 進路フェスタ	実践する・進路を見つめる
三 年 生	4月12日 進路調査 5月2日 進路ガイダンス① 6月6日～9日 第1回校内模擬面接 7月3日～7日 第2回校内模擬面接 7月 日 拡大社会人講話 7月 日 就職達成セミナー 夏季休業 就職・進学試験対策講座 (1週間) 7月 日 仙台市合同企業説明会 7月 日 大崎市合同企業説明会 7月 日 栗原市合同企業説明会 8月28日～8月31日 第3回校内模擬面接 8月 日 履歴書の作成・べ切 9月5日 就職書類発 9月6日 外部講師面接 9月9日 築館ロータリークラブによる模擬面接会 9月15日 就職希望者激励会 9月16日 就職試験開始～ 1月26日 デュアルシステム学習報告会 2月 日 3年生から後輩への話 (対象者のみ)	就職・進学へ向けて